

日本経済学会 2008 年度秋季大会

ブロードバンド市場における間接ネットワーク効果の実証分析*

京都大学大学院 経済学研究科 黒田敏史[†]

要旨

本論文ではブロードバンドアクセスサービスと、音楽配信・動画共有・オンラインゲームというブロードバンドコンテンツサービスの間で生じる間接ネットワーク効果の推定を行った。パネルデータを用いた離散選択モデルの推定結果から、現在の日本のブロードバンド市場における ADSL から FTTH への利用者の移行は、価格や速度といったアクセスの属性ではなく、サービスの多様化によって生じた間接ネットワーク効果によるものであることが明らかになった。また、間接ネットワーク効果を無視した需要の価格弾力性の推定値には上方バイアスが存在すること、間接ネットワーク効果の恩恵は高度なネットワークでより大きいこと、加入者増のブロードバンドコンテンツの多様化への貢献には技術間で差がないことが明らかになった。また、ブロードバンドの高度化のためにはネットワークの中立性が寄与することを論じた。

JEL classification: D120, L510, L860

Keywords: Broadband, Indirect Network effect, Price elasticity

*本論文の執筆に当たっては「情報通信政策研究プログラム」の研究会にて多数の有意義な助言を頂いた。また、使用したデータの一部には日本音楽著作権協会により提供されたデータが含まれる。

[†]日本学術振興会 特別研究員 (DC2)

〒606-8501 京都府京都市吉田本町 E-Mail:withyou@bf6.so-net.ne.jp